

タンザニア

主要データ

| | |
|----------------------------------|---|
| 国名〔英名〕 | タンザニア連合共和国〔United Republic of Tanzania〕 |
| 面積(km ²) | 945,087 |
| 海岸線延長(km) | 1,424 |
| 人口(百万人) | 40.5 |
| 人口密度(人/km ²) | 42.9 |
| GDP(百万US\$) | 22,318 |
| 一人当りGDP(US\$) | 550.5 |
| 主要鉱産物：鉱石 | 金、銅 |
| 主要鉱産物：地金 | — |
| 鉱業管轄官庁 | エネルギー鉱物省(Ministry of Energy and Minerals) |
| 鉱業関連政府機関 | 鉱物資源コミッショナー(Commissioner for Minerals) |
| 鉱業法 | The Mining Act, 1998(鉱業法 1998) (なお、The Mining Act, 2010(鉱業法 2010)は、2010年4月に国会通過した) |
| 外資法 | — |
| 環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等) | 鉱業法により特別採掘ライセンスの申請者は、政府が承認する国際基準を満たす独立コンサルタントによる環境管理計画(EMP)および、環境影響評価(EIA)を提出する必要がある |
| 鉱業公社 | — |
| 近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等) | 全鉱山の10%の権益を国家の持分とする大統領特別委員会のレポートが下院に提出され、下院の支持を受け、改正鉱業法に盛り込まれた |
| 2009年のトピックス | ・2009年9月 新鉱業政策発表 ・2010年4月 新鉱業法国会通過 |

1. 鉱業一般概況

タンザニアは、世界で唯一、タンザナイトを生産しており、また、金、ダイヤモンドを産出している。特に、金においては、産出量は36.6t(2009年)で、アフリカでは、南ア、ガーナ、マリに続いて第4位の生産量を誇る。2007年のGDPに占める鉱業・採石業の割合は3.2%であり、政府は2025年までに10%にすることを目標としている。しかしながら、インフラ不足や、慢性的な手続の遅延等により鉱業の発展は遅れているが、2007年にエネルギー鉱物省に鉱業権や探査権を管理するためのMining Cadastral Information Management System(MCIMS)を導入するなど、政府は環境整備を進めている。

2005年以降、タンザニアでは旱魃により水力による発電量が低下しており、電力不足となっている。

2008年9月、世界銀行の支援を受け、発電量358メガワットの水力発電所の建設を決定した。2010年建設開始、2012年稼働開始の予定となっている。

同国では、金、ダイヤモンド以外にも、外資によるウランやニッケルの探査が進展している。特に、ウランでは、2009年7月にNgaeleja エネルギー鉱物大臣が、タンザニアには利用可能な約53.9百万ポンド（24千t）の酸化ウランがあり、2011年までにUranex Tanzania Ltd、2012年までにMantra Tanzanita Ltd. がウランの生産を開始する見込みであることを発表した。

また、鉱業法関係では、2009年9月に鉱業政策が公表され、2010年4月に新鉱業法が国会を通過した。大統領の署名後、同法は施行されるが、大統領署名の有無について情報が錯綜しており、まだ同法の施行は確認されていない。

その他、税制の動きとして、世界的な景気後退の中、同国では電力不足となっており、鉱山各社では電力不足を補うため、自家発電を行っており、その費用負担をいくらかでも和らげ、鉱山各社の業績を上げるため、2009/10（7月～6月）年度の鉱山に係る燃料税を廃止した。また、新鉱業法の成立を踏まえて、鉱業税制が強化するための検討を進めていることが報道された。

2. 鉱業政策の主な動き

- ・ 2009年9月 エネルギー鉱物省が、新鉱業政策（ THE MINERAL POLYCY OF TANZANIA）を発表。2009年鉱業政策は、政府と利害関係者の指針となるように、政策目的と政策声明という形で記載され、同国の鉱物資源の持続的可能な開発・利用により2025年までに社会経済の発展に著しく貢献する鉱業部門の育成を目標としている。
- ・ 2010年4月 新鉱業法が国会を通過。
 - ①全鉱山の権益10%を政府保有とする。
 - ②ロイヤルティの変更（金 3→5%、ダイヤモンド、宝石類（タンザナイト等）5→7%、切石、研磨石（0→3%）
 - ③金鉱山に対する燃料輸入税の税控除の廃止
 - ④鉱山企業に対する燃料税、道路使用税の新規課税
 - ⑤ロイヤルティ課税基準の変更（純利益 a net back value →売り上げ gross value）
- ・ 2010年6月 鉱業税制強化を行うことを発表

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. タンザニア：金属鉱石生産量

（単位：千t）

| 鉱種 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2009年増減比（%） |
|------|-------|-------|-------|-------------|
| 銅 | 3.2 | 2.5 | 3.1 | 24.0 |
| 金（t） | 40.2 | 36.6 | 41.1 | 12.3 |

(WMSY2010)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2007 年 | 2008 年 | 2009 年 | 2009 年増減比 (%) |
|------|--------|--------|--------|---------------|
| 該当なし | | | | |

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3-3. タンザニア：金属地金消費量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2007 年 | 2008 年 | 2009 年 | 2009 年増減比 (%) |
|------|--------|--------|--------|---------------|
| 該当なし | | | | |

(4) 主要金属輸出量

表 3-4. タンザニア：精鉱量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2007 年 | 2008 年 | 2009 年 | 2009 年増減比 (%) | 主な輸出相手国(3 か国程度) |
|------|--------|--------|--------|---------------|-----------------|
| 該当なし | | | | | |

(5) 主要非鉄金属輸入量

表 3-5. タンザニア 精鉱中含量・地金輸入量

(単位：千 t)

| 鉱種 | 2007 年 | 2008 年 | 2009 年 | 2009 年増減比 (%) | 主な輸出相手国(3 か国程度) |
|------|--------|--------|--------|---------------|-----------------|
| 該当なし | | | | | |

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

| 鉱山名 | 権益所有企業(権益：%) | 鉱種 | 生産量(t) | 備考 |
|---------------|--|----|--------|---|
| Bulyanhulu 鉱山 | African Barrick Gold Plc (95%) タンザニア政府 (5%) | 金 | 7.7 | (金生産量：249,000oz) |
| Buzwagi 鉱山 | African Barrick Gold Plc (100%) | 金 | 5.9 | (金生産量：189,000oz) |
| Geita 鉱山 | AngloGold Ashanti Ltd. (100%) | 金 | 8.5 | (金生産量：272,000oz) |
| North Mara 鉱山 | African Barrick Gold Plc (100%) | 金 | 6.6 | (金生産量：212,000oz) 2009 年 3 月、216 人を解雇し、 3 ピットのうちの 1 ピットを 閉鎖した |

(Metals Economics Group)

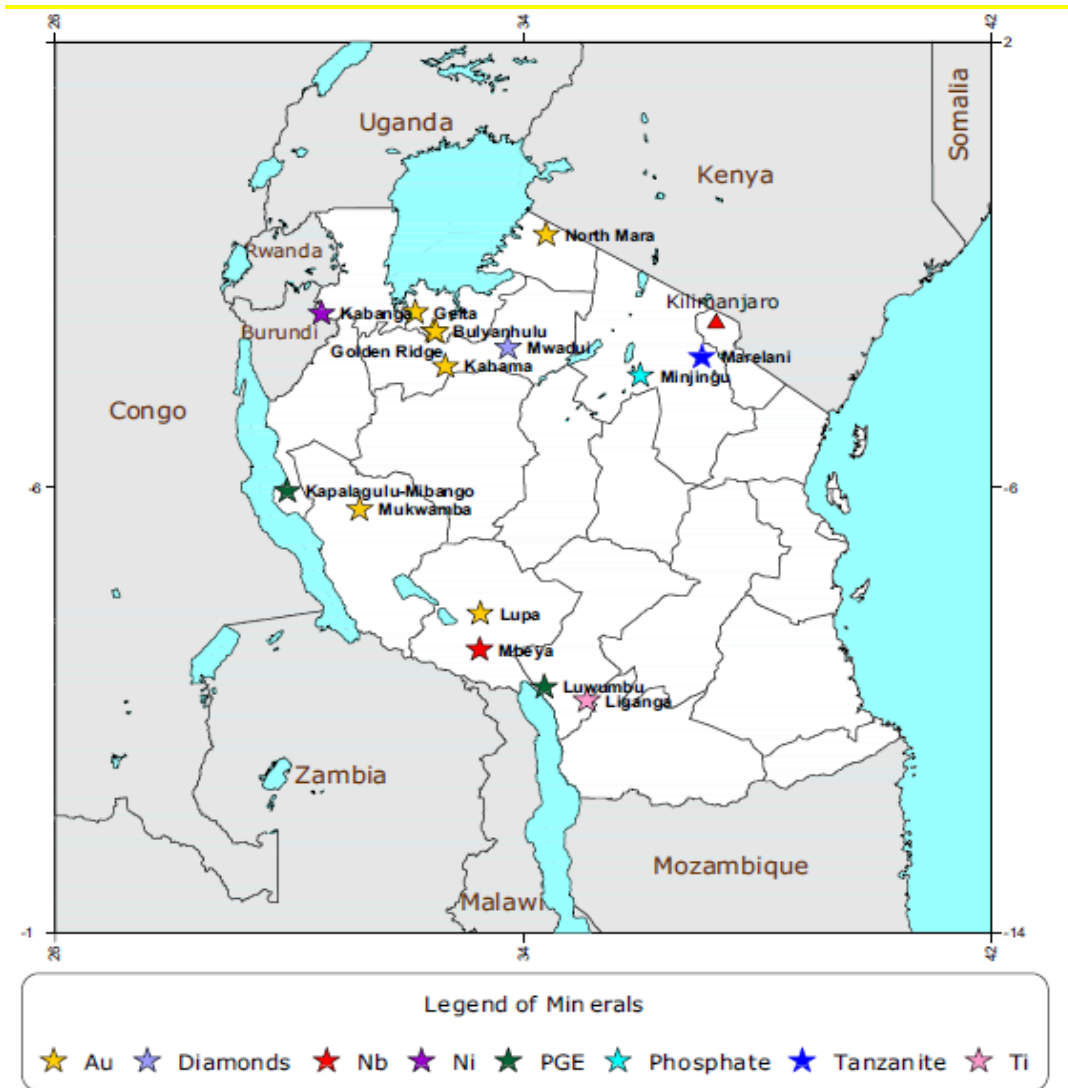


図1. タンザニアの主要鉱山位置図

表 4-2. 製錬・精製所生産状況

| | 権益所有企業 (権益 : %) | 鉱種・形態 | 生産量 (千 t) | 備考 |
|------|-----------------|-------|-----------|----|
| 該当なし | | | | |

5. 探鉱状況

(1) 開発・建設段階 (鉱種、プロジェクト名、オペレーター)

該当なし

(2) 企業化調査段階 (鉱種、プロジェクト名、オペレーター)

- ・ ニッケル、Kabanga、Xstrata
- ・ ニッケル、Duta、African Eagle Resources
- ・ ウラン、Mkuju River、Mantra Resources
- ・ 金、Nyakufuru、Resolute Mining
- ・ 金、Chunya、Shanta Gold

(3) 鉱床能力の評価段階（鉱種、プロジェクト名、オペレーター）

- ・ ニッケル、Mibango、IMX Resources
- ・ ニッケル、Nachingwea、Continental Nickel
- ・ ウラン、Manyoni、Uranex NL
- ・ 金、Saza、Helio Resource
- ・ 金、Itetemia、Tanzanian Royalty Exploration
- ・ 金、Luhala、Kibo Mining
- ・ 金、Nyanzaga、African Barrick Gold
- ・ 金、Kigosi、Tanzanian Royalty Exploration
- ・ 金、Miyabi、Macquarie Harbour Mining
- ・ 金、Singida、Shanta Gold
- ・ 金、Igurubi、Peak Resources

(4) 鉱床規模の把握段階（鉱種、プロジェクト名、オペレーター）

- ・ ウラン、Mtonya、Uranium Resources
- ・ ウラン、Mkuju、Uranex NL
- ・ 金、Ikungu、MDN
- ・ 金、West Geita、Peak Resources

(5) 初期探鉱段階（鉱種、プロジェクト名、オペレーター）

- ・ ニッケル、Magambazi、Canaco Resources
- ・ ニッケル、Kabanga、Jinchuan Group
- ・ ウラン、Ruvuma、Uranium Resources
- ・ ウラン、Mbamba Bay、Mantra Resources

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 6-1. タンザニアの日本への精鉱・地金輸出量（※含量ベースかマテリアル量かを明記）

（単位：千 t）

| 鉱種 | 2007 年 | 2008 年 | 2009 年 | 2008/2007 (%) |
|------|--------|--------|--------|---------------|
| 該当なし | | | | |

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

特になし

（ロンドン事務所 竹谷正彦）